



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月29日

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5612 URL <https://www.nichu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石毛 俊朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷部 圭一 (TEL) 03-3546-7675
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,823	9.8	△12	—	2	△95.2	△54	—
2024年3月期第1四半期	3,482	△7.3	36	—	49	—	△38	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △56百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △28百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△17.02	—
2024年3月期第1四半期	△12.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	19,643	9,569	47.0	2,871.55
2024年3月期	20,457	9,771	46.1	2,935.52

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 9,226百万円 2024年3月期 9,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2025年3月期	—				
2025年3月期(予想)		0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

通期の期末配当につきましては、本日(2024年7月29日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	5.6	600	△30.3	600	△33.0	280	△41.1	87.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想の修正につきましては、本日(2024年7月29日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	3,293,074株	2024年3月期	3,293,074株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	80,064株	2024年3月期	80,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	3,213,035株	2024年3月期1Q	3,213,076株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間においては、首都圏の管路布設工事向け販売量が対前年同期比で増加したものの、全国的な動向としては水道事業者の発注量は前年度並みに低調となっています。また世界的なインフレや円安などの影響による原材料価格およびエネルギー価格や物流費等の諸物価が高位に推移しており、収益を大きく圧迫する要因となっています。そのため、販売価格への転嫁やコスト削減の積上げなどの企業努力により適正な収益の確保を図っております。

当社はカーボンニュートラルへの取り組みとして2022年6月に電気炉建設チームを設置し、国の目指す排出CO₂の削減目標の実現に向けて検討を進め、電気炉を導入し、キュボラ炉からの転換を図ることを2023年8月7日に決定し、公表いたしました。

当社の主力製品であるダクタイル鉄管は、老朽化に伴う更新需要はあるものの、業界全体の生産設備が過剰な状態にある環境下にあります。そこで、当社と株式会社クボタ（以下クボタ）は、今後も社会インフラを支える企業として供給責任を果たしていくため、生産設備を再編し、クボタの京葉工場で生産している小口径（呼び径75mm～250mm）のダクタイル鉄管（直管）の完成品および半完成品をOEM供給する製造合弁会社（当社の子会社として、久喜工場のダクタイル鉄管（直管）の製造部門を分社）の設立について、協議を進めております。

また、当社は、パーパスとしての「水が途切れない世界を実現する」に向けての取り組み、すなわち、製造・販売にとどまらず、管路診断、設計から工事施工に至る管路サイクルすべての分野での活動への展開を図っております。具体的な取り組みといたしましては、さや管推進工法での工事負荷を軽減する部品「オセール」の拡販、プリセット接合工具「楽ちゃく」の新サイズの開発、スマートフォンやタブレットでマンホール蓋のデータ収集・集計、自動編集できるDXソフト「だいさくくん」の販売促進、Fracta社とのパートナーシップによるFracta-AI管路診断技術の普及促進などがあり、将来に向けた活動を引き続き推進しております。

当社はESG経営を進め、継続的に発展していく企業を目指し、環境変化に柔軟かつ迅速に対応できる企業体質の強化を引き続き推し進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなっております。

売上高につきましては、販売価格の上昇および首都圏の管路布設工事向け販売量が対前年同期比で増加したこと等により、前年同期と比べ3億40百万円（前年同期比9.8%）増加し、38億23百万円となりました。

収益につきましては、販売価格の上昇および販売量増加の影響はあるものの、原材料価格および電力・ガス・物流費等の諸物価が高位に推移していることや在庫評価差の影響などにより、前年同期と比べ営業利益は48百万円減少し、12百万円の損失となりました。経常利益は47百万円（前年同期比▲95.2%）減少し、2百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は54百万円の損失となりました。

引き続き、皆様のご期待に添えるような企業運営に努め、安定利益を確保できるよう一層努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億13百万円減少し、196億43百万円となりました。これは主に「現金及び預金」が2億82百万円、「電子記録債権」が8億61百万円それぞれ減少する一方で、「仕掛品」が1億26百万円増加したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ、6億11百万円減少し、100億74百万円となりました。これは主に流動負債の「電子記録債務」が5億13百万円減少したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2億2百万円減少し、95億69百万円となりました。これは主に配当金の支払いによる減少1億41百万円と「親会社株主に帰属する四半期純損失（△）」54百万円の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月26日の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて未定としておりました2025年3月期の通期連結業績予想数値を公表することといたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2024年7月29日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,419	3,136
受取手形及び売掛金	3,168	3,231
電子記録債権	2,988	2,126
商品及び製品	3,168	3,136
仕掛品	575	702
原材料及び貯蔵品	665	682
その他	130	138
貸倒引当金	△59	△51
流動資産合計	14,058	13,103
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,237	3,237
その他(純額)	2,181	2,308
有形固定資産合計	5,418	5,545
無形固定資産		
投資その他の資産	673	668
固定資産合計	6,399	6,540
資産合計	20,457	19,643
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,098	1,099
電子記録債務	2,591	2,078
短期借入金	2,550	2,550
未払法人税等	138	33
賞与引当金	189	338
その他	968	808
流動負債合計	7,537	6,908
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
役員退職慰労引当金	36	40
退職給付に係る負債	271	279
負ののれん	15	13
その他	825	832
固定負債合計	3,148	3,166
負債合計	10,685	10,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,855	1,855
資本剰余金	264	264
利益剰余金	6,731	6,535
自己株式	△105	△106
株主資本合計	8,746	8,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	23
退職給付に係る調整累計額	667	652
その他の包括利益累計額合計	685	675
非支配株主持分	339	343
純資産合計	9,771	9,569
負債純資産合計	20,457	19,643

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	3,482	3,823
売上原価	2,807	3,208
売上総利益	674	615
販売費及び一般管理費	637	627
営業利益又は営業損失(△)	36	△12
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	10	8
設備賃貸料	1	1
受取賃貸料	2	1
その他	12	10
営業外収益合計	26	22
営業外費用		
支払利息	3	6
支払手数料	0	0
設備賃貸費用	0	0
その他	8	0
営業外費用合計	13	7
経常利益	49	2
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	25	5
特別損失合計	25	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25	△2
法人税、住民税及び事業税	36	27
法人税等調整額	21	16
法人税等合計	57	44
四半期純損失(△)	△32	△47
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	△54
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	4
退職給付に係る調整額	△0	△14
その他の包括利益合計	3	△9
四半期包括利益	△28	△56
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34	△64
非支配株主に係る四半期包括利益	6	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	ダクタイル 鑄鉄関連	樹脂管・ ガス関連	計			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	3,004	478	3,482	3,482	—	3,482
外部顧客への売上高	3,004	478	3,482	3,482	—	3,482
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	18	18	18	△18	—
計	3,004	496	3,500	3,500	△18	3,482
セグメント利益又は損失 (△)	△20	61	40	40	△3	36

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	ダクタイル 鑄鉄関連	樹脂管・ ガス関連	計			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	3,273	549	3,823	3,823	—	3,823
外部顧客への売上高	3,273	549	3,823	3,823	—	3,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	14	14	14	△14	—
計	3,273	563	3,837	3,837	△14	3,823
セグメント利益又は損失 (△)	△76	59	△16	△16	4	△12

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額 4百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)および負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	114 百万円	118 百万円
負ののれん償却額	1 "	1 "